

# 照明システム・EMS コントローラ間 アプリケーション通信 インタフェース仕様書

**Version 1.00**



## 改定履歴

日付	版	説明
2017/6/27	Ver.1.00 Draft	—
2017/8/31	Ver.1.00	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2.3 表の参照を削除</li><li>・ 2.4.2 表の参照を修正</li><li>・ 4 参照資料の URL 更新 (2 件)</li></ul>

- ・ エコーネットコンソーシアムが発行している規格類は、工業所有権(特許,実用新案など)に関する抵触の有無に関係なく制定されています。  
エコーネットコンソーシアムは、この規格類の内容に関する工業所有権に対して、一切の責任を負いません。
- ・ この書面の使用による、いかなる損害も責任を負うものではありません。

## 目次

第1章 はじめに.....	1-1
1. 1 用語.....	1-3
1. 2 参照規格.....	1-3
第2章 アプリケーション層.....	2-1
2. 1 ECHONET オブジェクト (EOJ) .....	2-1
2. 2 ECHONET Lite サービス (ESV) .....	2-1
2. 3 オブジェクト別搭載 ECHONET プロパティ (EPC) .....	2-2
2. 4 アプリケーション動作.....	2-2
2. 4. 1 連続要求.....	2-2
2. 4. 2 応答待ちタイマー .....	2-3
2. 4. 3 再送処理.....	2-3
2. 4. 4 処理対象プロパティカウンタ (OPC) 数.....	2-3
2. 4. 5 プロパティ値書き込み要求.....	2-3
第3章 照明システムクラスの標準動作.....	3-1
3. 1 立ち上げ動作.....	3-2
3. 1. 1 ECHONET Lite ノード立ち上げ処理.....	3-2
3. 1. 2 照明システム検索処理.....	3-2
3. 1. 3 ECHONET Lite 属性情報取得.....	3-2
3. 1. 4 照明システム属性情報取得.....	3-3
3. 2 随時動作.....	3-4
3. 2. 1 動作状態の設定・状態取得.....	3-4
3. 2. 2 照度レベル設定の設定・状態取得【オプション】 .....	3-5
3. 2. 3 シーン制御設定の設定・状態取得.....	3-6
3. 3 異常時動作.....	3-8
3. 3. 1 異常発生状態通知 .....	3-8
3. 4 遠隔操作.....	3-8
3. 4. 1 遠隔操作によるオンオフ動作状態の設定・状態取得【オプション】 .....	3-8
3. 4. 2 遠隔操作による照度レベル設定の設定・状態取得【オプション】 .....	3-9
3. 4. 3 遠隔操作によるシーン制御設定の設定・状態取得【オプション】 .....	3-10
第4章 遠隔操作で考慮すべき事項.....	4-1

## 目次

図 1-1	接続構成.....	1-1
図 1-2	想定ネットワークスタック.....	1-2
図 3-1	標準的な動作シーケンス例.....	3-1
図 3-2	ECHONET Lite 属性情報取得シーケンス例.....	3-3
図 3-3	照明システム属性情報取得シーケンス例.....	3-4
図 3-4	動作状態の設定・状態取得シーケンス例.....	3-5
図 3-5	照度レベル設定の設定・状態取得シーケンス例.....	3-6
図 3-6	シーン制御設定の設定・状態取得シーケンス例.....	3-7
図 3-7	動作状態の設定・状態取得シーケンス例 (遠隔操作) .....	3-9
図 3-8	照度レベル設定の設定・状態取得シーケンス例 (遠隔操作) .....	3-10
図 3-9	シーン制御設定の設定・状態取得シーケンス例 (遠隔操作) .....	3-11

## 表目次

表 2-1 ECHONET オブジェクト (EOJ) .....	2-1
表 2-2 ECHONET Lite サービスコード (ESV) .....	2-1
表 2-3 機器オブジェクト (スーパークラス規定) .....	2-2
表 2-4 機器オブジェクト (照明システムクラス規定) .....	2-2
表 2-5 EMS コントローラの応答待ちタイマー値 .....	2-3

## 第1章 はじめに

本仕様書は、UDP/IP<sub>v6</sub> 通信上で ECHONET Lite をアプリケーションプロトコルとして使用した照明システム～EMS コントローラ間のアプリケーション通信について、異メーカー間の相互接続性を担保するために必要となる事項を規定する。

本仕様書で想定する構成を図 1-1 に示す。

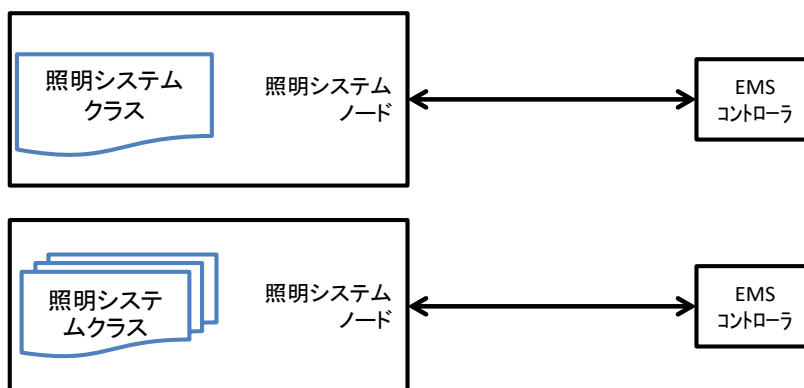


図 1-1 接続構成

図 1-1 に示すように、1 ノード中に1 機器オブジェクトが搭載される場合だけでなく、1 ノード中に複数の機器オブジェクトが搭載される場合がある。EMS コントローラは、1 ノード上に複数の機器オブジェクトを構成するノードについても対応することが必要である。

EMS コントローラは、複数の機器を収容することを考慮する。収容する台数については、EMS コントローラの仕様次第である。

また、照明システムは、同一システム内に複数の EMS コントローラが接続している場合、以下の動作を推奨とする。

複数コントローラがあつたとしても、機器はそれを意識しない。すなわち後着した書込み要求に基づいて、制御を実行する。

図 1-2 に本仕様で ECHONET Lite を動作させるための想定ネットワークスタックを示す。UDP/IP<sub>v6</sub> 上でアプリケーションプロトコルとして ECHONET Lite を動作させる。基本は、IPv6 を用いるものとするが、使用する伝送メディアによっては、IPv4 から IPv6 へのマイグレーションに関して、市場動向に従うものとする。

Application層	ECHONET Lite(アプリケーション)
Transport層	UDP
Network層	IPv6 (IPv4)
(アダプテーション層) MAC層	(6LoWPAN*1) (特定のMAC層の想定なし)
PHY層	(特定のPHY層の想定なし)

\*1) IPv6利用時、かつ伝送メディアに依る

図 1-2 想定ネットワークスタック

ECHONET Lite 通信開始前に必要となる各通信メディア固有の接続処理については、本仕様書の範囲外である。本仕様書ではこれらの通信メディア固有の接続処理が完了していることを前提とし、ECHONET Lite によるアプリケーション通信について述べる。

## 1. 1 用語

EMS コントローラ	本仕様書ではECHONET Liteにて照明システムと通信するノードを指す。
照明システム	本仕様書ではECHONET LiteにてEMS コントローラと通信し、照明システム用の各種制御・動作情報を提供するノードを指す。

## 1. 2 参照規格

本仕様で参照する規格を以下に挙げる。本仕様書に明示的な説明がない事柄については、規格文書に従う。

[EL] The ECHONET Lite Specification Version 1.01 以降

[ELOBJ] ECHONET Specification APPENDIX: ECHONET 機器オブジェクト詳細規定  
Release I 以降



## 第2章 アプリケーション層

アプリケーション層として、ECHONET Lite[EL]を使用する。本仕様書の記載に基づくノードは、[EL]に規定される必須機能を全てサポートしなければならない。

### 2. 1 ECHONET オブジェクト (EOJ)

照明システム及びEMS コントローラが搭載する ECHONET オブジェクト (EOJ) を以下に示す。

表 2-1 ECHONET オブジェクト (EOJ)

	グループ コード	クラス コード	クラス名称	インスタンス コード※
照明システム	0x02	0xA3	照明システム	0x01~0x7F
	0x0E	0xF0	ノードプロファイル	0x01
EMS コントローラ	0x05	0xFF	コントローラ	0x01~0x7F
	0x0E	0xF0	ノードプロファイル	0x01

※インスタンスコード 0x00 を全インスタンス指定コードとし、指定されたクラスの全インスタンスを指定することを示す。

### 2. 2 ECHONET Lite サービス (ESV)

照明システム及びEMS コントローラは、表 2-2 に示される ECHONET Lite サービスコード (ESV) をサポートするものとする。

表 2-2 ECHONET Lite サービスコード (ESV)

サービスコード (ESV)	ECHONET Lite サービス内容	記号
0x51	プロパティ値書き込み要求不可応答	SetC_SNA
0x52	プロパティ値読み出し不可応答	Get_SNA
0x61	プロパティ値書き込み要求 (応答要)	SetC
0x62	プロパティ値読み出し要求	Get
0x71	プロパティ値書き込み応答	Set_Res
0x72	プロパティ値読み出し応答	Get_Res
0x73	プロパティ値通知	INF

なお、ESV = 0x50, 0x53, 0x5E, 0x60, 0x63, 0x6E, 0x74, 0x7A, 0x7E は、本仕様書に基づく認証試験は実施しない

## 2. 3 オブジェクト別搭載 ECHONET プロパティ (EPC)

照明システムは、表 2-3、表 2-4 に示される機器オブジェクトの ECHONET プロパティ (EPC) を搭載するものとする。また、ノードプロファイルオブジェクトの ECHONET プロパティ (EPC) については、必須プロパティのみサポートする。

表 2-3 機器オブジェクト (スーパークラス規定)

プロパティ名	EPC	アクセスルール		状態時 通知	備考
		Get	Set		
設置場所	0x81	◎	◎	◎	
規格 Version 情報	0x82	◎	—	—	
異常発生状態	0x88	◎	—	◎	
メーカーコード	0x8A	◎	—	—	
状態アナウンス プロパティマップ	0x9D	◎	—	—	
Set プロパティマップ	0x9E	◎	—	—	
Get プロパティマップ	0x9F	◎	—	—	
遠隔操作設定	0x93	○	○	—	

◎：必須、○：オプション、—：サポート対象外

表 2-4 機器オブジェクト (照明システムクラス規定)

プロパティ名	EPC	アクセスルール		状態時 通知	備考
		Get	Set		
動作状態	0x80	◎	○	◎	
照度レベル設定	0xB0	○	○	—	
シーン制御設定	0xC0	◎	◎	—	
シーン制御設定可能数	0xC1	◎	—	—	

◎：必須、○：オプション、—：サポート対象外

## 2. 4 アプリケーション動作

### 2. 4. 1 連続要求

照明システム及び EMS コントローラは、要求と応答を 1 セットとし、ひとつの要求に対してひとつの応答を返す。EMS コントローラから照明システムの同一ノードに対する要求を連続して送信する場合は、EMS コントローラは、本仕様書で規定する「応答待ちタイマー値」を踏まえた設計にすること。応答を受信した場合は、「応答待ちタイマー値」をリセットし、新たな要求を送信することができる。

EMS コントローラが、照明システムからの応答前に「応答待ちタイマー値」よりも短い間隔で、再送、もしくは連続送信した場合、機器は要求を受け付けない場合がある。なお、連続要求とは EMS コントローラから照明システムの同一インスタンスではなく、同一ノードへの要求が連続する場合

を示す。

## 2. 4. 2 応答待ちタイマー

EMS コントローラからの要求に対する照明システムの応答における、EMS コントローラの応答待ちタイマー値は表 2-5 に基づくものとする。

なお、照明システムは、2. 3に記載するプロパティに対して OPC 数 1 でアクセスされる場合と、第3章に記載した処理に関して、20 秒未満に応答しなければならない。また照明システムは、DEOJ のインスタンスコードが、全インスタンス指定コード (0x00) の場合、最初の応答電文を 20 秒未満に応答しなければならない。

表 2-5 EMS コントローラの応答待ちタイマー値

パラメータ名	値	備考
応答待ちタイマー	20 [sec]以上	

## 2. 4. 3 再送処理

照明システム及び EMS コントローラはアプリケーション (ECHONET Lite) レベルでのタイムアウトが発生した場合、同じトランザクション ID (TID) のフレームで再送しないこと。なお、同一の要求であっても、TID を変更しながら送信することは、再送にはあたらないものとする。

## 2. 4. 4 処理対象プロパティカウンタ (OPC) 数

照明システムは OPC 数 4 までサポートしなければならない。本項で示す OPC 数の最大値は、第3章および第4章で示すメッセージの処理を行うために必要な値であり、照明システムに対し、OPC 数 4 までのあらゆるプロパティの組み合わせへの対応を要求するものではない。

OPC 数が複数の要求には、要求時の EPC で指定されるプロパティの順番で応答する。

## 2. 4. 5 プロパティ値書き込み要求

EMS コントローラは、SetC[0x61]要求時、[ELOBJ]で規定されているプロパティの値域外の値を設定してはならない。

照明システムは、動作状態が ON である場合、EMS コントローラからの SetC[0x61]要求を受けると、Set\_Res[0x71]を応答するものとする。

照明システムは、動作状態が OFF である場合、EMS コントローラから、動作状態への SetC[0x61]要求を受けると、Set\_Res[0x71]を応答するものとする。ただし、動作状態以外のプロパティへの書き込み要求の応答は実装依存とし、Set\_Res[0x71] / Set\_SNA[0x51]のいずれかを応答するものとし、制御を実行しない場合もある。

EMS コントローラは、Set\_Res[0x71]を受信した場合でも、Get[0x62]による設定値の書き込み確認を行うことが望ましい。

ただし、動作状態が ON/OFF いずれの場合も、機器の状態によって、制御出来ない場合は、SetC

---

SNA[0x51]を送信する場合がある。また、設定値が値域外などで書き込みできない場合の応答は実装依存とし、Set\_Res[0x71]/Set\_SNA[0x51]のいずれかを応答する。なお、読み出し要求も同様に、機器の状態によって、状態を読み出せない場合、Get\_SNA[0x52]を送信する場合がある。

### 第3章 照明システムクラスの標準動作

本章では、照明システム・EMS コントローラ間における照明システムクラスの標準的な動作を示す。本章で記載された要求電文、通知電文について、受信・応答することは必須である。例えば、機器側では、「規格 Version 情報、状態アナウンスプロパティマップ、Set プロパティマップ、Get プロパティマップ」の4つの EPC が格納された読み出し要求受信時は、必ず OPC 数=0x04 で応答しなければならないことを意味する。また、EMS コントローラ側は、本章記載のシーケンス例に基づいて、機器側が動作することを考慮することが望ましい。

図 3-1 に一般照明クラスの照明システム・EMS コントローラ間における標準的な動作のシーケンス例を示す。ここでは、照明システムと EMS コントローラ間の下位層におけるネットワーク接続処理は完了しているものとする。

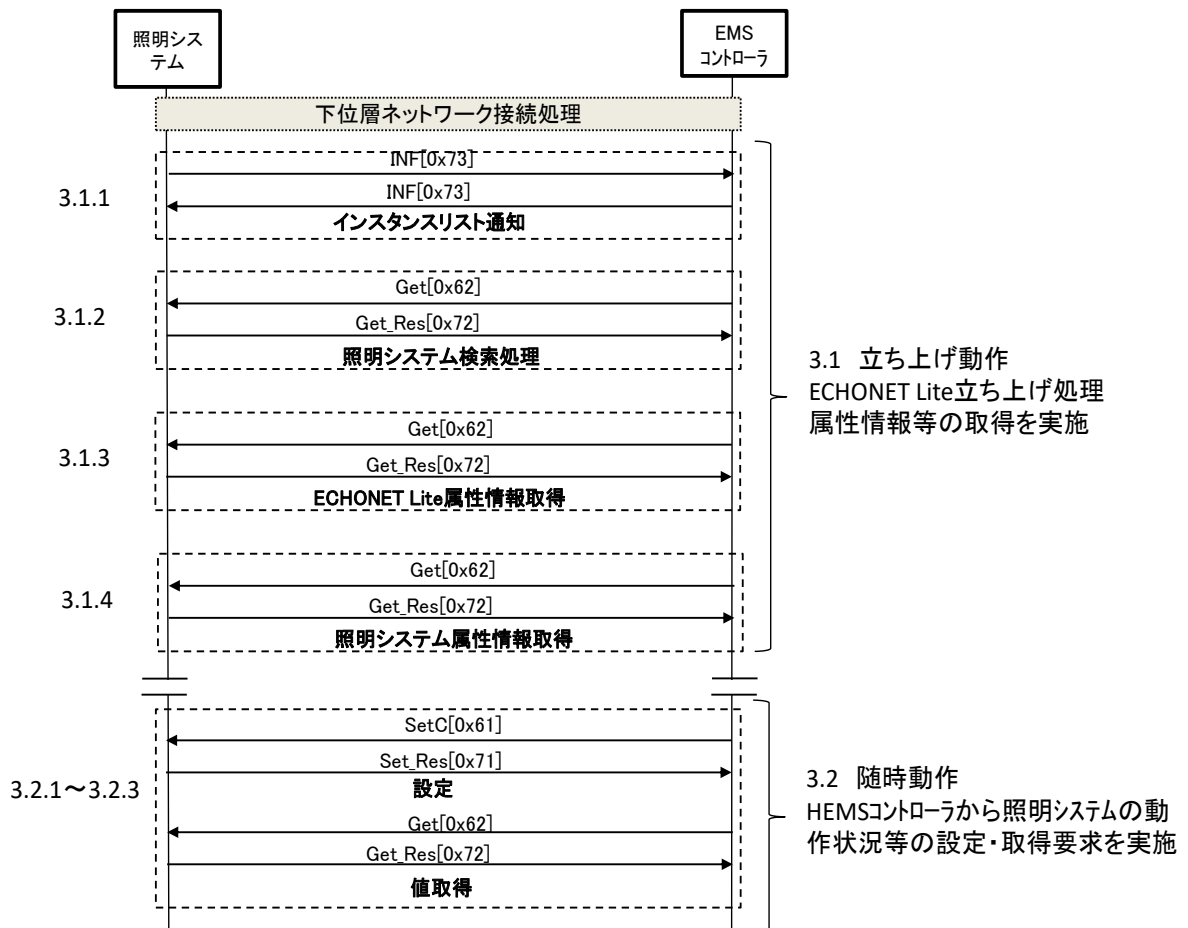


図 3-1 標準的な動作シーケンス例

### 3. 1 立ち上げ動作

#### 3. 1. 1 ECHONET Lite ノード立ち上げ処理

照明システム及び EMS コントローラは、下位層のネットワーク接続が完了した後、インスタンスリストの通知を行う。①1 ノード、1 インスタンスの場合、②1 ノード、複数の同一クラスのインスタンスが格納されている場合、③1 ノード、複数の異なるクラスのインスタンスが格納されている場合、が考えられる。いずれの場合も、EMS コントローラは、インスタンスリスト通知受信時に、管理対象機器の判別を行えること。

(1) 対象プロパティ (ノードプロファイルオブジェクト)

- ・ 0xD5 : インスタンスリスト通知

#### 3. 1. 2 照明システム検索処理

EMS コントローラは、起動時に照明システムが送信するインスタンスリスト通知を受信できなかった場合に備え、照明システムを検索する処理を実施する。具体的には、DEOJ を 0x0290、インスタンスコードを 0x00、EPC を動作状態として、マルチキャストで読み出し要求 Get[0x62]を送信する。なお、ECHONET Lite 規格第5部に記載しているように、ノードプロファイルオブジェクト (0x0EF001) の自ノードインスタンスリスト S (0xD6) プロパティ宛てに、読み出し要求 Get[0x62]を送信することで、検索することも可能である。

(1) 対象プロパティ (照明システムオブジェクト)

- ・ 0x80 : 動作状態

#### 3. 1. 3 ECHONET Lite 属性情報取得

EMS コントローラは、照明システムからインスタンスリスト通知を受けた後、もしくは照明システムを検索した後、ECHONET Lite 通信を行う上で必要となる ECHONET Lite の属性情報を要求する。ECHONET Lite の属性情報は、必要に応じ、再取得可能とする。

EMS コントローラは、ECHONET Lite 属性情報に基づき照明システムが搭載している Appendix Release 番号ならびにプロパティを確認し、照明システムの搭載状況に合わせた要求を行うことを推奨する。

(1) 対象プロパティ (照明システムオブジェクト)

- ・ 0x82 : 規格 Version 情報
- ・ 0x9D : 状態アナウンスプロパティマップ
- ・ 0x9E : Set プロパティマップ
- ・ 0x9F : Get プロパティマップ

(2) シーケンス

図 3-2に ECHONET Lite 属性情報取得のシーケンス例を記載する。

- ① EMS コントローラは、照明システムからインスタンスリスト通知を受けた後、対象プロパティ（組合せ、順序は任意）を Get[0x62]にて要求する。
- ② 照明システムは、Get\_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。

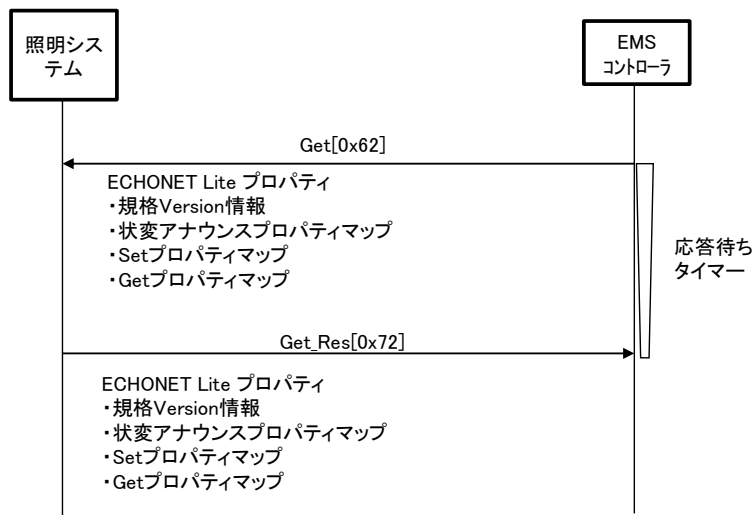


図 3-2 ECHONET Lite 属性情報取得シーケンス例

### 3. 1. 4 照明システム属性情報取得

EMS コントローラは、照明システムから ECHONET Lite 属性情報を取得した後、照明システムの属性情報を要求する。照明システムの属性情報は、必要に応じ、再取得可能とする。

- (1) 対象プロパティ（照明システムオブジェクト）
  - ・ 0x80：動作状態
  - ・ 0xC1：シーン制御設定可能数

(2) シーケンス

図 3-3に照明システム属性情報取得のシーケンス例を記載する。

- ③ EMS コントローラは、照明システムから ECHONET Lite 属性情報を取得した後、対象プロパティ（組合せ、順序は任意）を Get[0x62]にて要求する。
- ④ 照明システムは、Get\_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。

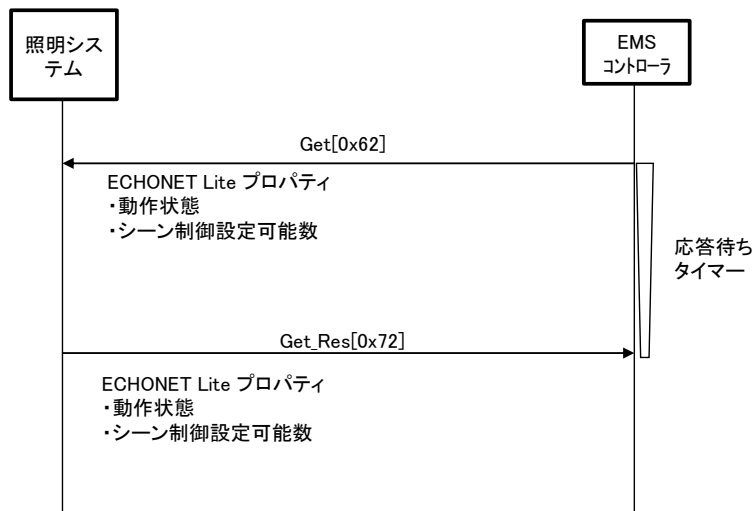


図 3-3 照明システム属性情報取得シーケンス例

## 3. 2 随時動作

### 3. 2. 1 動作状態の設定・状態取得

EMS コントローラは、必要に応じて、照明システムの動作状態を設定し、その動作状態を取得する。

- (1) 対象プロパティ (照明システムオブジェクト)
  - ・ 0x80 : 動作状態

- (2) シーケンス

図 3-4 に動作状態取得のシーケンス例を記載する。①の前に、照明システムの動作状態を ON (0x30) とした場合と、OFF (0x31) とした場合の 2 パターンについて確認する。

- ① EMS コントローラは、対象プロパティを Get[0x62]にて要求する。
- ② 照明システムは、Get\_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。
- ③ EMS コントローラは、対象プロパティに対し②で取得した値が ON (0x30) の場合は OFF (0x31)、OFF (0x31) の場合は ON (0x30) を SetC[0x61]にて要求する。
- ④ 照明システムは、Set\_Res[0x71]を応答するものとする。
- ⑤ EMS コントローラは、照明システムから Set\_Res[0x71]を受信後に、設定値の書き込み確認のため、対象プロパティを Get[0x62]にて要求する。
- ⑥ 照明システムは、Get\_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。



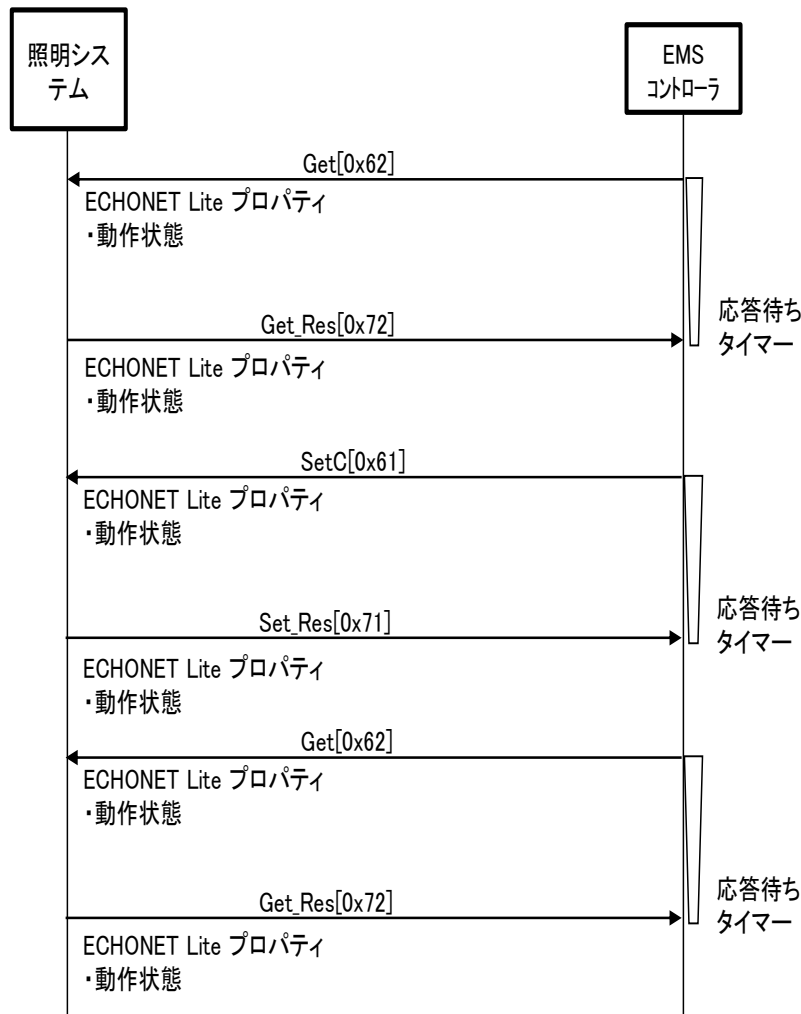


図 3-4 動作状態の設定・状態取得シーケンス例

### 3. 2. 2 照度レベル設定の設定・状態取得【オプション】

EMS コントローラは、必要に応じて、照度レベル設定を設定し、その状態を取得する。

- (1) 対象プロパティ (照明システムオブジェクト)  
0xB0 : 照度レベル設定

- (2) シーケンス

図 3-5 に、動作状態が ON の場合の照度レベル設定の設定・状態取得のシーケンス例を記載する。

- ① EMS コントローラは、対象プロパティを Get[0x62]にて要求する。
- ② 照明システムは、Get\_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。
- ③ EMS コントローラは、対象プロパティに対し 0x00~0x64(100) のいずれかを SetC[0x61]にて要求する。
- ④ 照明システムは、設定値が搭載されているプロパティの値域内の場合、Set\_Res[0x71]を応

答するものとする。設定値が搭載されているプロパティの値域外などの場合は、SetC\_SNA[0x51] もしくは Set\_Res[0x71] を応答するものとする。

- ⑤ EMS コントローラは、照明システムから Set\_Res[0x71] を受信後に、設定値の書き込み確認のため、対象プロパティを Get[0x62] にて要求する。
- ⑥ 照明システムは、Get\_Res[0x72] にて該当プロパティ値を送信する。

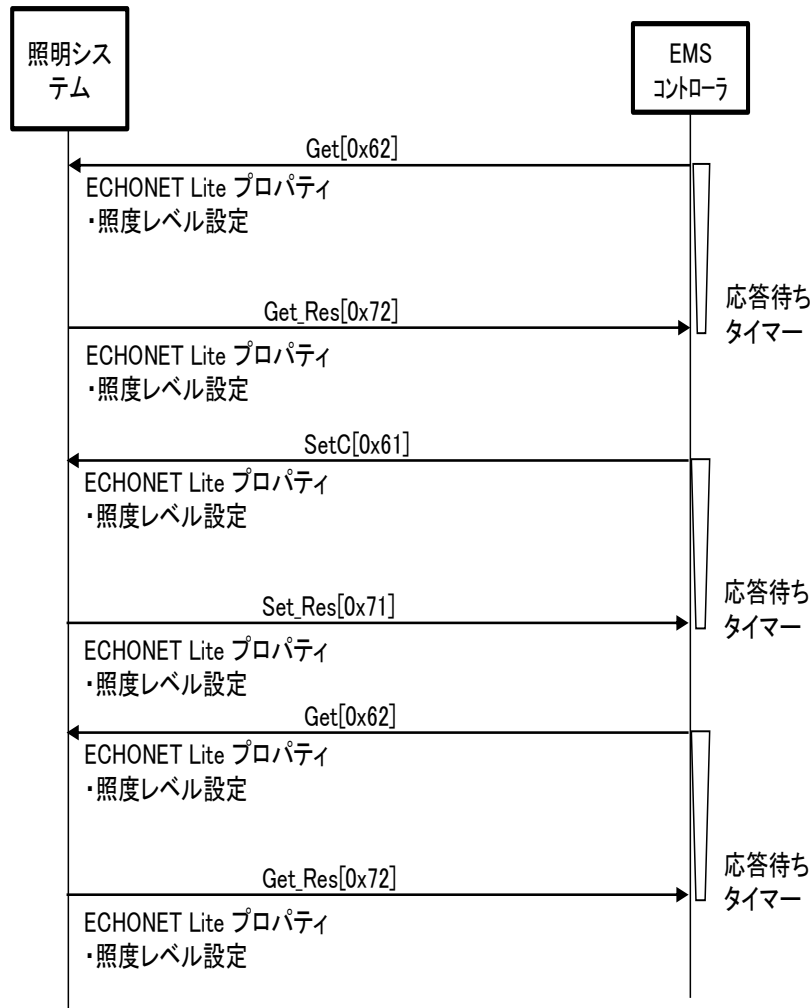


図 3-5 照度レベル設定の設定・状態取得シーケンス例

### 3. 2. 3 シーン制御設定の設定・状態取得

EMS コントローラは、必要に応じて、シーン制御設定を設定し、その状態を取得する。

- (1) 対象プロパティ (照明システムオブジェクト)  
0xC0 : シーン制御設定
- (2) シーケンス

図 3-6 に、動作状態が ON の場合のシーン制御設定の設定・状態取得のシーケンス例を記

載する。

- ① EMS コントローラは、対象プロパティを Get[0x62]にて要求する。
- ② 照明システムは、Get\_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。
- ③ EMS コントローラは、対象プロパティに対し 0x01～シーン制御設定可能数のいずれかを SetC[0x61]にて要求する。
- ④ 照明システムは、設定値が搭載されているプロパティの値域内（シーン制御設定可能数内）の場合は、Set\_Res[0x71]を応答するものとする。設定値が搭載されていないプロパティの値域外などの場合は、SetC\_SNA[0x51] もしくは Set\_Res[0x71]を応答するものとする。
- ⑤ EMS コントローラは、照明システムから Set\_Res[0x71]を受信後に、設定値の書き込み確認のため、対象プロパティを Get[0x62]にて要求する。
- ⑥ 照明システムは、Get\_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。

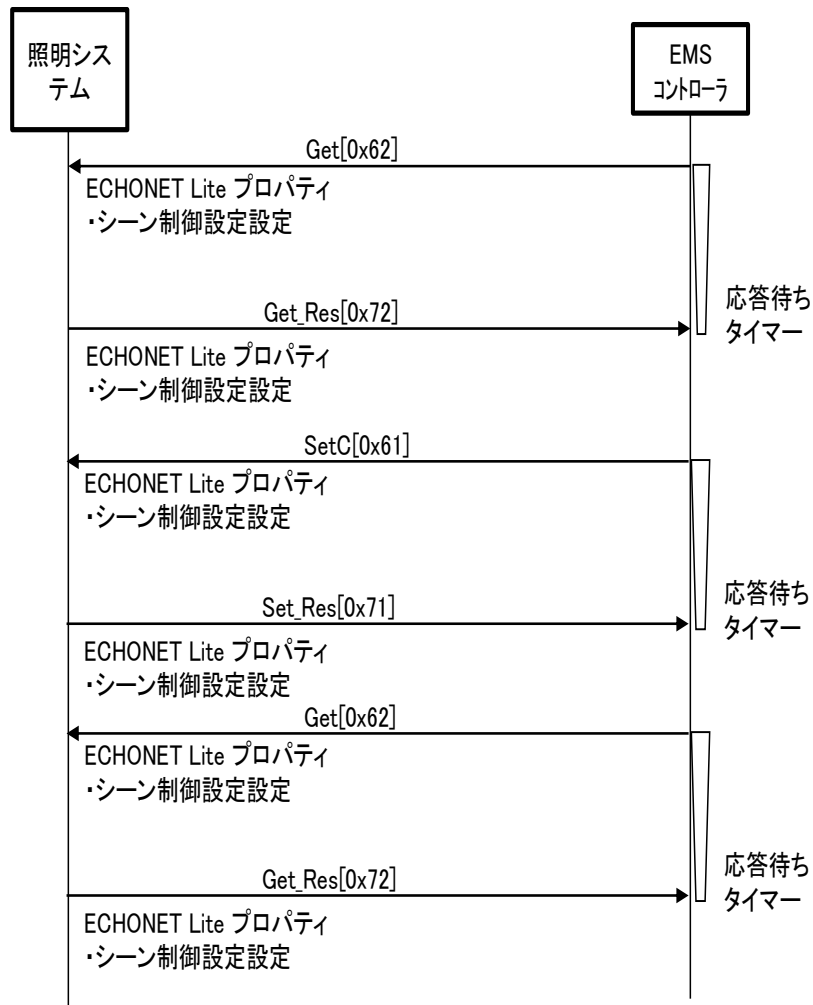


図 3-6 シーン制御設定の設定・状態取得シーケンス例

### 3. 3 異常時動作

#### 3. 3. 1 異常発生状態通知

照明システムは、動作状態等を送信出来ない異常状態となった場合、異常発生状態（異常発生有）を EMS コントローラに通知する。また、異常状態から復帰した場合は、異常発生状態（異常発生無）を EMS コントローラに通知する。

照明システムが異常発生中における EMS コントローラの動作は規定しない。

(1) 対象プロパティ（照明システムオブジェクト）

- ・ 0x88：異常発生状態

### 3. 4 遠隔操作

#### 3. 4. 1 遠隔操作によるオンオフ動作状態の設定・状態取得【オプション】

遠隔から宅内の照明システムの操作・制御する例を示す。照明システムは、あらかじめ遠隔操作が受け付けられる状態とする。EMS コントローラは、遠隔操作設定プロパティを先頭につけて照明システムの動作状態を設定し、その動作状態を取得する。

(1) 対象プロパティ（照明システムオブジェクト）

- ・ 0x93：遠隔操作設定
- ・ 0x80：動作状態

(2) シーケンス

図 3-7 に動作状態の設定・状態取得のシーケンス例を記載する。

- ① EMS コントローラは、対象プロパティ（動作状態）に対し ON (0x30)、OFF (0x31) のいずれかを SetC[0x61]にて要求する。
- ② 照明システムは、設定値が搭載されているプロパティの値域内の場合は、Set\_Res[0x71]を応答するものとする。設定値が搭載されていないプロパティの値域外などの場合は、SetC\_SNA[0x51] もしくは Set\_Res[0x71]を応答するものとする。
- ③ EMS コントローラは、照明システムから Set\_Res[0x71]を受信後に、設定値の書き込み確認のため、対象プロパティを Get[0x62]にて要求する。
- ④ 照明システムは、Get\_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。

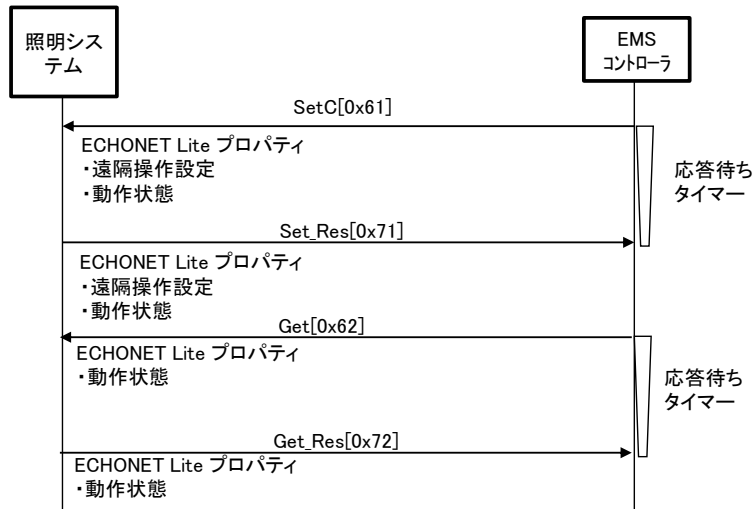


図 3-7 動作状態の設定・状態取得シーケンス例（遠隔操作）

### 3. 4. 2 遠隔操作による照度レベル設定の設定・状態取得【オプション】

遠隔から宅内の照明システムの操作・制御する例を示す。照明システムは、あらかじめ遠隔操作を受け付けられる状態とする。EMS コントローラは、遠隔操作設定プロパティを先頭につけて照度レベル設定を設定し、その状態を取得する。

#### (1) 対象プロパティ（照明システムオブジェクト）

- ・ 0x93：遠隔操作設定
- ・ 0xB0：照度レベル設定

#### (2) シーケンス

図 3-8 に、動作状態が ON の場合の照度レベル設定の設定・状態取得のシーケンス例を記載する。

- ① EMS コントローラは、対象プロパティ（照度レベル設定）に対し 0x00～0x64(100) のいずれかを SetC[0x61]にて要求する。
- ② 照明システムは、設定値が搭載されているプロパティの値域内の場合は、Set\_Res[0x71]を応答するものとする。設定値が搭載されていないプロパティの値域外などの場合は、SetC\_SNA[0x51] もしくは Set\_Res[0x71]を応答するものとする。
- ③ EMS コントローラは、照明システムから Set\_Res[0x71]を受信後に、設定値の書き込み確認のため、対象プロパティを Get[0x62]にて要求する。
- ④ 照明システムは、Get\_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。

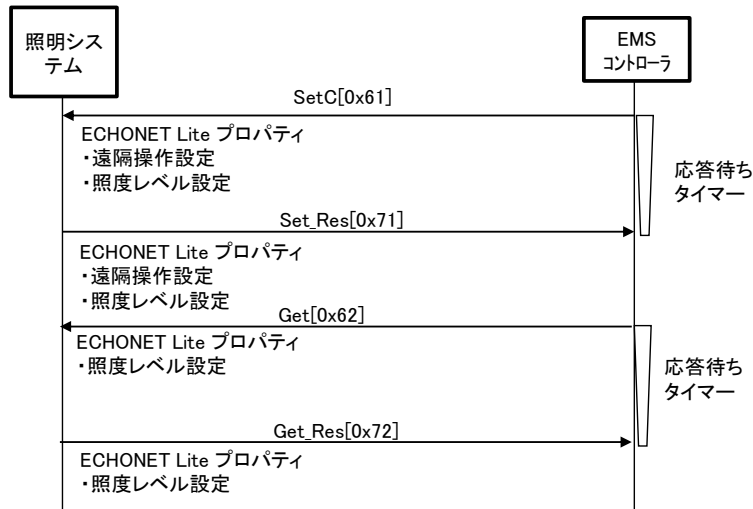


図 3-8 照度レベル設定の設定・状態取得シーケンス例（遠隔操作）

### 3. 4. 3 遠隔操作によるシーン制御設定の設定・状態取得【オプション】

遠隔から宅内の照明システムの操作・制御する例を示す。照明システムは、あらかじめ遠隔操作が受け付けられる状態とする。EMS コントローラは、遠隔操作設定プロパティを先頭につけてシーン制御設定を設定し、その状態を取得する。

(1) 対象プロパティ（照明システムオブジェクト）

- ・ 0x93：遠隔操作設定
- ・ 0xC0：シーン制御設定

(2) シーケンス

図 3-9 に、動作状態が ON の場合のシーン制御設定の設定・状態取得のシーケンス例を記載する。

- ① EMS コントローラは、対象プロパティ（シーン制御設定）に対し 0x01～シーン制御設定可能数のいずれかを SetC[0x61]にて要求する。
- ② 照明システムは、設定値が搭載されているプロパティの値域内（シーン制御設定可能数内）の場合は、Set\_Res[0x71]を応答するものとする。設定値が搭載されていないプロパティの値域外などの場合は、SetC\_SNA[0x51] もしくは Set\_Res[0x71]を応答するものとする。
- ③ EMS コントローラは、照明システムから Set\_Res[0x71]を受信後に、設定値の書き込み確認のため、対象プロパティを Get[0x62]にて要求する。
- ④ 照明システムは、Get\_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。

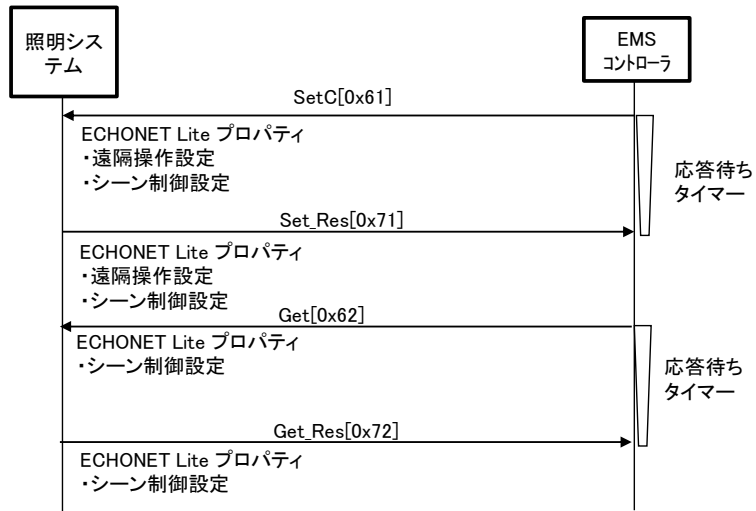


図 3-9 シーン制御設定の設定・状態取得シーケンス例 (遠隔操作)

## 第4章 遠隔操作で考慮すべき事項

本章では、EMS コントローラが遠隔操作設定プロパティを実装して、遠隔操作を行う上で考慮すべき事項を示す。照明システムを遠隔監視、遠隔制御する場合は、以下の文書を参考に設計すべきである。

1. 「電気用品の技術上の基準を定める省令」  
(URL:<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/H25/H25F15001000034.html>)
2. 「電気用品の技術基準の解釈（通達）別表第八 令別表第一第六号から第九号まで及び別表第二第七号から第十一号までに掲げる交流用電気機械器具並びに携帯発電機」  
(URL:<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/denan/kaishaku/gijutsukijunkaishaku/beppyoudai8.pdf>)
3. 電気用品安全法「電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の一部改正について（20130424 商局第1号：平成25年5月10日）別表第八 1 共通の事項（2）構造 ロ」  
(URL:<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/denan/kaishaku/gijutsukijunkaishaku/kaiseibun20130510.pdf>)
4. 電気用品調査委員会 活動成果掲載資料、参考資料
  - ・「解釈別表第八に係わる遠隔操作」に関する報告 平成25年11月6日  
(URL: [http://eam-rc.jp/pdf/deliberation/88/88\\_03.pdf](http://eam-rc.jp/pdf/deliberation/88/88_03.pdf))
  - ・「解釈別表第四に係わる遠隔操作」に関する報告書の追加検討報告書 平成28年3月22日  
(URL: [http://www.eam-rc.jp/pdf/result/remote\\_control\\_4\\_2.pdf](http://www.eam-rc.jp/pdf/result/remote_control_4_2.pdf))
  - ・固定配線用の点滅器及び調光器の遠隔操作機構に関する試験方法 平成26年7月2日  
(URL:[http://www.eam-rc.jp/pdf/material/remote\\_control\\_4\\_testing\\_method.pdf](http://www.eam-rc.jp/pdf/material/remote_control_4_testing_method.pdf))